

JCHO 札幌北辰病院 広報誌

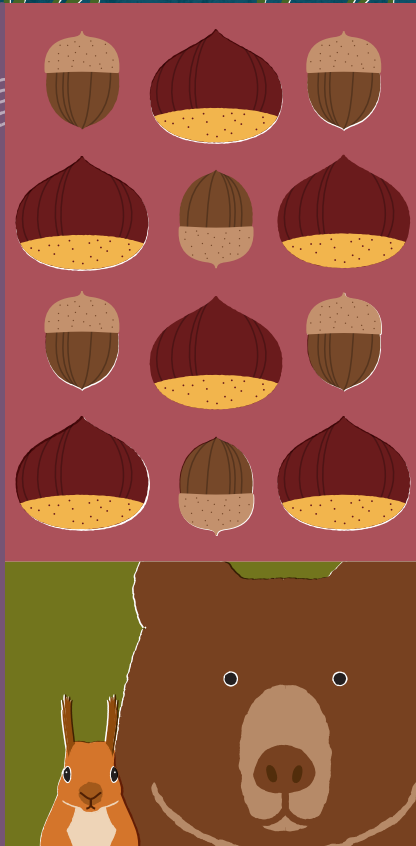


No.37
2015.10

Polaris

ポラリス

hokushin.jcho.go.jp



INDEX

院長から
当院の救急医療体制について

2

医療の現場から①
消化器外科手術について

3

医療の現場から②
ストーマ外来について

4

こんにちは 医療連携・相談室です
『医療法人 もみじ台クリニック』

5

あつべつ健康・福祉フェスタ

6

インフォメーション
●研修会のお知らせ(医療従事者対象)

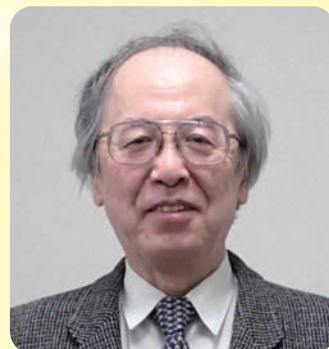
7



独立行政法人 地域医療機能推進機構
JCHO 札幌北辰病院

当院の救急医療体制 について ～現状と今後の展望～

院長 佐々木 文章



当院は地域医療支援病院に認定されています。その役割の一つとして、救急医療の提供があります。特に厚別及びその周辺地区で救急医療を提供する役割が求められています。また、二次救急指定病院、救急告示病院にも指定されていますので、当然のことながら救急医療の体制を充実させることは当院の重要な使命であります。

現在、当院の救急医療体制は、診療時間内については総合診療科を中心に可能な限り救急患者さんの受入依頼に応じております。時間外は札幌市の二次救急指定病院として輪番制で診療を行っております。けが・災害は月2回、小児は月2～3回、呼吸・循環器は月1回、消化器は月1回、それぞれ担当しており、緊急性の高い入院診療や手術等が必要な方の受入先として札幌市内の夜間救急医療の一部を担っております。

地域の皆さんが、「いつでも」、「どんな疾患でも」、「すぐに診てくれる」ことを希望していることはよく承知しております。しかし当院には救急救命センターはなく、救急患者さんに対して24時間対応することができません。また、地域の救急医療のすべてを当院のみで対応することもできませんので、地域の医療機関と連携を取って診療を行うことが重要となります。地域医療機関との連携を強化し地域の救急医療に応じることができる体制を構築したいと考えております。

その為に地域の皆さんへお願いしたいことは、「かかりつけ医」をもっていただきたいということです。かかりつけ医とは日常的な診療や健康管理等を行ってくれる身近な医師のことを言います。かかりつけ医を受診し、そこで緊急の診断・治療を要すると判断された場合、その医師から当院の医師へ連絡いただくことで円滑な診断・治療が行えます。また、そのような余裕がなく緊急で当院を直接受診いただく場合は、総合診療科が対応いたします。総合医が診察をして、専門的な治療を要すると判断した場合、当院の各専門科と連携をして治療にあたります。特に心筋梗塞などの心疾患では、診断・治療の遅れが致命傷となる場合もあります。心疾患に対して迅速に対応するため当院の循環器内科では「胸痛外来」を設け、その日外来診療にあたっていない専門医が対応できるような体制を取っております。

今後についてですが、2016年度から常勤の総合医の1名増員が決まっております。総合診療科の体制強化をすすめ、同科を救急受入の窓口として救急医療体制を充実していきます。今後は対応する診療科がはっきりしない救急患者さんは総合診療科が中心となって診療を行う予定です。

これからも地域の皆様が、安心して生活を送ることのできる、頼りがいのある病院となるよう一層努力してまいります。

医療の
現場から

1

消化器外科手術 について



外科 横山 良司

JCHO札幌北辰病院は地域医療支援病院として、厚別区とその周辺地域の急性期医療を担っており、緊急手術を要する症例をはじめ多数の患者様の診療を行っております。また2015年4月より消化器外科を標榜致しましたので、当科の特徴を紹介致します。

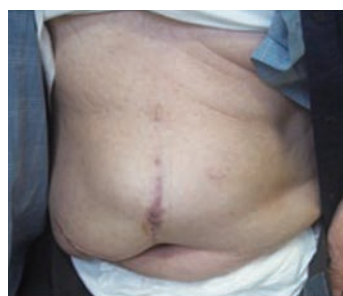
外科医は院長、副院長を含め総勢6名で外来診療は平日毎日行っております。午後の休診日の診療や救急車受け入れにも可及的に対応しております。また当院は22科体制で、糖尿病などの持病をお持ちの方でも同時に治療が可能です。当科の診療内容は良性、悪性疾患の手術に加え、抗がん剤治療、ストーマケア、リンパ浮腫に対しても積極的に治療しております。

腹腔鏡下手術

1990年に日本で初めて胆石症に対し行われて以来、腹腔鏡下手術は飛躍的に進歩し、現在ではいろいろな疾患に応用されるようになりました。腹腔鏡下手術とは、お臍を小さく切っておなかの中に炭酸ガスを注入し膨らませ空間を作ります。この空間を利用して1~4ヶ所、0.5~2cm程度のキズから腹腔鏡手術用のはさみや電気メスなどを入れて手術を行います。このため手術後の痛みが少なく、手術翌日より歩行される方がほとんどです。またキズは目立たず美容的にも優れています。さらに体力低下も軽減され、入院期間の短縮や早期社会復帰が可能となります。当科では胆石症以外に、胃、大腸、肝臓、脾臓、ヘルニア(小児は女児のみ)、急性虫垂炎、小腸などの疾患

に腹腔鏡下手術を行っております。ただし、すべての病気に腹腔鏡下手術を行えるわけではなく、病気の進み具合や全身状態によっては従来どおり開腹手術となることもあり、腹腔鏡下手術から開腹手術に切り替える必要があるケースもあります。

【開腹手術(左)と腹腔鏡下手術(右)の比較】



内括約筋切除術(肛門温存手術)

肛門に近い直腸癌に対しては人工肛門を設ける手術が一般的ですが、当科ではできるだけ肛門を残す手術を行っております。肛門を意識しないで締める内括約筋を切りとり、意識して締める外括約筋を全部もしくは大部分を残して肛門を温存します。手術当初は肛門の安静を保つため一時的な人工肛門を作りますが、問題なく経過すれば閉鎖します。この手術もすべての方に行えるわけではなく、癌の種類や進み具合、もともと排便機能の低下した方には永久人工肛門を設ける手術を行っております。

当科では地域医療に貢献すべく日々診療しておりますので、外科的疾患でお困りの時には、是非、お気軽にご相談下さい。

医療の
現場から

2

ストーマ外来 について

皮膚・排泄ケア認定看護師 水口 晶子



ストーマ外来を担当しております、皮膚・排泄ケア認定看護師の水口と申します。

皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡(床ずれ)や術後の創部などの創傷ケア、人工膀胱、人工肛門のストーマケア、便や尿失禁に対する失禁ケアを専門とし、健康を害した皮膚ならびに皮膚障害のリスクの高い皮膚に対し健康を取り戻すことを目的としてケアをしています。

ストーマとは、腹部に便または尿を排泄するために造設する排泄口のことです。ストーマ外来では、ストーマを造設した方が手術前の生活に少しでも近づけ、安心して生活できるようにサポートしています。排泄行為にトラブルがあると外出することが苦痛で家に閉じこもりがちになり、いつ漏れるかと心配で睡眠をも妨げてしまいます。まず、なぜ排泄物が漏れるのか、なぜ皮膚障害が起こっているのか原因を考え、患者様の生活に合った装具なのかを含めて、お手入れの方法や使用する装具を選択していきます。

先日、本州から札幌に引っ越され、来院された患者様がいらっしゃいました。その方とご家族は、お会いするとすぐに「助けてください。毎日便が漏れているのです。」と話されました。4年間毎日のように便が漏れ、常にストーマ周囲の皮膚が赤くただれて困っていたそうです。来院されたその日にストーマ装具を変更し、5日後に再び来て頂きました。すると「全然漏れ

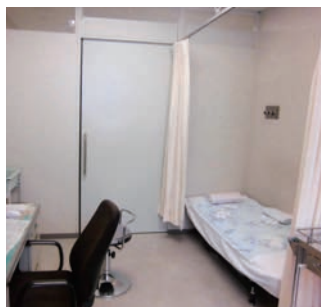
ませんでした。こんなのは初めてです。え？みなさんは漏れないのですか？」と質問されました。便がもれるのは仕方がない事だと諦めていたようです。ストーマを造設した方、そのご家族や周囲の医療関係者の方々、排泄物が漏れるのは仕方ないと諦めていませんか？月に1回以上便や尿が漏れている場合は、お腹の形と装具の形が合っていない可能性があります。適切な装具に変更することで、漏れが改善できる場合がありますので、お近くの病院または当院のストーマ外来を受診することをお勧めします。

昨年、当院のストーマ外来を受診した患者様は延べ533名いらっしゃいました。「見てもらうだけで安心する」と毎月受診される患者様から「何も困っていないよ」と年1回受診される患者様と様々です。何もトラブルが無くても、合併症の早期発見や新製品の情報提供ができますので、少なくとも1年に1度はストーマ外来を受診することをお勧めします。

当院のストーマ外来では、他院でストーマを造設した患者様も受け付けております。手術した病院からの紹介状を持参して、外科、泌尿器科を受診してください。気軽に足を運んで頂ければと思います。ストーマ外来でお待ちしております。



▲外科外来の診察室でストーマ外来を行っています



▲ストーマ外来の診察室風景

ストーマ外来(要予約)

- 毎週月曜日
13:00~16:00
- 毎週木曜日
9:00~12:00

※交換用のストーマ装具を一式持参してください

医療法人 もみじ台クリニック

今回は、もみじ台クリニック院長 本村 亘先生にお話を伺いました。

クリニックは昭和51年に開院され、平成25年10月より、本村 亘院長先生・史子副院長先生が内科・消化器内科・糖尿病内科の診察をされており、特に消化器内科・糖尿病を専門としておられます。

内視鏡検査や動脈硬化検査等の設備があり、各種ワクチンの接種や健診をなどを受けることができます。

女性医師が常勤でいらっしゃるため女性の方にも通しやすい体制をとられており、看護師3名、事務職員2名のスタッフの皆様とともに地域に密着した診療にあたっておられます。

病院の特徴について教えてください

当院は、厚別区厚別東に開院いたしまして40年、前医師より継承いたしまして2年目になります。診療科目は内科、消化器内科、糖尿病内科を中心に行っておりますが、地域に根ざしたクリニックを目指し日々診療を行っております。設備としては胃、大腸内視鏡検査、超音波検査、骨塩定量、禁煙外来、等ございます。

医療連携に対するお考えをお聞かせください

無床診療所であり、重症患者様や専門的な治療が必要な患者様にはできるだけ速やかに、また的確に札幌北辰病院専門科へ紹介することを心がけております。お忙しいなか快く患者様を受け入れていただきましてありがとうございます。また、ご丁寧に病状の連携をしていただき感謝申し上げます。病診連携の中、札幌北辰病院諸先生方には頼ることばかりですが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

医療法人 もみじ台クリニック

〒004-0001 札幌市厚別区厚別東1条5丁目18番15号
TEL:011-311-2006 FAX:011-311-2006
<http://www.momijidai-clinic.com/doctor>

こんにちは
医療連携・相談室です
日頃、連携をさせて頂いている
先生方を紹介します。



▲南郷通りに面した住宅街に位置しています



▲広い窓から明るい光が入る待合室



▲クリニックを支えるスタッフの皆様



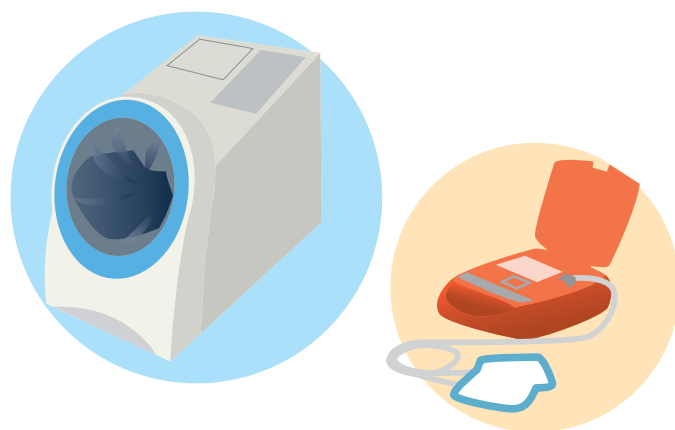
● あつべつ健康・福祉フェスタに出展しました!

あつべつ健康・福祉フェスタ実行委員会主催の「あつべつ健康・福祉フェスタ」が開催されました。当院では、9月17日のプレフェスタ(サンピアザ「光の広場」)で毎年行っている健康相談や血圧測定、手洗いチェックなどに加えて、今年もBLS(一次救命処置)を知ってもらおうと蘇生方法やAEDの使い方についてご来場いただいた皆さんに体験していただきました。

また、9月26日に厚別区民センターで開催されたフェスタでは、当院の理学療法士が『腰痛予防体操』というテーマで、腰痛に関する簡単

な説明に加え、いすに座って自宅で行える簡単なストレッチや、姿勢の指導を行いました。

プレフェスタ・フェスタ共に多くの皆さんにお越しいただき誠にありがとうございました。



プレフェスタ(9月17日サンピアザ「光の広場」)



フェスタ(9月26日厚別区民センター)

9月26日、厚別区民センターにおいて、『あつべつ健康・福祉フェスタ』が行われました。17日にサンピアザひかりの広場にて行われたプレフェスタにおいても、血圧測定、歯科相談、血管年齢測定等が行われましたが、今年も昨年と同様『自宅でできる腰痛体操』というテーマで、腰痛に関する簡単な説明に加え、いすに座って自宅で行える簡単なストレッチや、姿勢の指導を行いました。

平成25年度国民生活基礎調査によると、腰痛の有訴者率(自覚症状のある人の割合)は男性では1位、女性では2位(ちなみに、1位は肩こり)となっています。腰痛を訴える人は多く、病院を受診する大きな理由のうちの1つですが、画像診断(レントゲン・MRIなど)で、原因のはっきりしない腰痛が多く存在します。その中でも多いのが、姿勢性の腰痛です。これは座ったり、立ったりしている姿勢が悪いことが原因

で起きる腰痛です。

姿勢が悪くなりやすい人は、長時間同じ姿勢をとる人や、よく足を組み、左右のバランスが悪い人、運動不足などで腰の周りや足の筋力が落ちてしまった人です。姿勢が悪くなると、筋肉が緊張し、硬くなります。硬くなった筋肉は、筋肉の中を通っている血管を圧迫し、血流を悪くしてしまいます。そのため、筋肉に酸素が行き届かなくなり、痛みが出現します。痛みが出現してくると、我慢するのに体に力が入り、また筋肉が緊張して…というように、負のサイクルに陥ることになります。

姿勢性の腰痛に対して有効なのが、筋肉のストレッチです。重要なことは、呼吸を止めず、ゆっくり行う(10～20秒程度)ことと、反動をつけないことです。あまり強い反動をつけると筋肉が引き伸ばされすぎて傷ついてしまいます。また息を止めながら行ってしまうと、

血圧の上昇を招くので控えましょう。

当日は参加者と一緒に体操を行いました。体操の回数を重ねることで血行が促進され、参加者の方も体が温まるのを感じることができたようです。体操を行ってもすぐには効果が現れません。地道に継続して行うことが重要です。他にも、生活習慣の見直し、普段の姿勢の見直しも重要となってきます。また、体操を行った後に腰痛の症状が悪化した場合は速やかに病院を受診するようにしましょう。

腰痛は誰にでも起こる症状です。腰痛の発生を予防すること、また今ある腰痛を軽減できるようにするためにも、できる範囲で運動を継続していきましょう。



インフォメーション

【研修会のお知らせ(医療従事者対象)】

11月11日(水)
19:00～20:30

新さっぽろ栄養士連絡会
「消化と吸収」(講師:当院 消化器内科医)

11月27日(金)
17:45～18:45

平成27年度第2回医療安全推進研修会
「医療事故を発生させないために
—医療訴訟事案から学ぶ医療安全—(仮)」
(講師:弁護士法人佐々木総合法律事務所 福田友洋先生)

●詳細が決まり次第当院ホームページでご案内いたします。お気軽にお電話でお問い合わせください。

外来担当医師 一覧

平成27年10月1日現在

受付時間

午前/ 8:00~11:00
午後/12:30~15:00
●土曜、日曜、祝日は休診

面会時間

午後/13:00~19:30

予約 及び 予約変更受付

午後/14:00~17:00

- 土・日・祝日を除く
- 小児科のみは時間内で予約も変更も可能

診療科		月	火	水	木	金	備考
総合診療科		午前	中村(吉田)	安達	安達	渡邊	安達
			渡邊	渡邊	渡邊	中村	渡邊
		午後(再来予約)	安達/渡邊	—	安達/渡邊	—	安達/渡邊
内科	糖尿病	午前	増田	野田	野田	増田	増田
			—	相川	(増田)	相川	—
	腎臓病	午後	—	—	—	野田	—
		午前	豊山	—	江端	—	山田
	呼吸器	午後	豊山	—	江端	—	山田
		午前	相坂	呉	成田	相坂	成田
	消化器	午後	—	—	—	—	—
		午前	高木(智)	福島	今井/吉田	高木(智)	福島
	循環器	午後	今井	—	吉田	—	—
		午前	北	川向	—	北	北(ペースメーカー)
小児科	リウマチ科	午後	内藤	—	—	—	中原
			—	中野	中原	内藤	中野
	血液	午後	—	川向	—	—	—
		午前	嶋村	—	—	加藤	—
		午後	—	安達	—	安達	—
			東館	伊藤	稲澤	東館	伊藤
		午後	稲澤	—	稲澤	伊藤	木澤
		(一般)	—	—	—	—	—
		午後	第1・3週: 伊藤(神経外来) 第2・4週: 木澤(リウマチ外来) 学童ワクチン(予約制)	乳児健診(1歳まで) 予約注射・ 予防接種(予約制) 第1・3週: 稲澤 (血液/フォロー)	第1・3週: 東館(川崎病外来) 第2・4週: 手代木(精神衛生相談)	東館 (心臓外来)	伊藤 (神経外来)
		(専門外来)	—	—	—	—	—
外科	外科	午後	脇坂	中川	横山(良)	高橋	佐々木 旭
		午前	高橋	佐々木 中川	横山(良)	高橋	旭
	消化器外科	午後	—	中川	横山(良)	—	旭
		午前	—	中川	横山(良)	—	旭
	乳腺外科	午後	脇坂	高橋	横山(良)	高橋	旭
		午前	高橋	—	横山(良)	高橋	—
	ストーマ	午後	—	—	—	予約制	—
		午前	予約制	—	—	—	—
	リンパ	午後	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制
		午前	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制
整形外科		午後	安藤(亮)	松本	安藤(亮)	松本	安藤(亮)
		午前	松本	祐川	祐川	祐川	祐川/下段
皮膚科		午後	祐川	松本	(手術)	安藤(亮)	(手術)
		午前	松村	松村	松村	松村	松村
泌尿器科		午後	安藤(佐)	安藤(佐)	安藤(佐)	安藤(佐)	安藤(佐)
		午前	松村	松村	(手術)	(手術)	安藤(佐)
産婦人科		午後	松田	松田	松田	松田	松田
		午前	三橋	三橋	三橋	三橋	三橋
眼 科		午後	松田	(手術)	松田	(手術)	松田
		午前	三橋	三橋	三橋	三橋	三橋
耳鼻咽喉科		午後	(産科)	足立(清)	足立(英)	沼田	足立(清)
		午前	(婦人科)	足立(英)	足立(清)	足立(英)	足立(英)
放射線診断科		午後	(産科)	(手術)	足立(英)	足立(清)	(手術)
		午前	(婦人科)	足立(清)	沼田	(手術)	足立(清)/沼田
		午後	(専門外来)	母乳外来	産後健診	—	母乳外来
		午前	—	—	—	母乳外来	母親学級
		午後	廣瀬(予約制)	廣瀬	廣瀬	廣瀬	廣瀬
		午前	横山(千)	横山(千)	横山(千)	横山(千)	横山(千)
		午後	(手術/予約検査)	予約検査	(手術)	予約検査	(手術)
		午前	交代制	(手術)	栗原	栗原	栗原
		午後	(手術)	(手術)	稲村	寺田	稲村
		午前	(手術)	(手術)	寺田	—	寺田
		午後	(手術)	(手術)	栗原	稲村	予約検査・処置
		午前	吉川	吉川	吉川	吉川	(検査)
		午後	吉川	吉川	吉川	吉川	吉川

※都合により代診・休診となる場合がございますので、事前にご確認願います。 ※各科の午後の(手術)(検査)(乳児健診・予防接種)は、診療時間の調整が必要ですので電話で確認してください。

JCHO札幌北辰病院広報誌「ボラリス」

発行責任者 佐々木文章
発行 行 〒004-8618 札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2番1号 JCHO札幌北辰病院
編集 集 広報部会 【事務局】総務企画課 TEL.011-893-3000

病院の
最新情報は

JCHO札幌北辰病院ホームページ

ジェイコー札幌北辰病院
hokushin.jcho.go.jp

検索



Facebookはじめました

https://www.facebook.com/jcho.sapporo.hokushin